

世界エイズデーについて

1 世界エイズデーとは

WHO(世界保健機関)は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱した。我が国においても、その趣旨に賛同し、毎年12月1日を中心にエイズに関する正しい知識等についての啓発活動を推進しており、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが実施されている。

2 今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマについて

(1) テーマ

Living Together ～私に今できること～
(今年度初めて公募により選定)

(2) 選定の趣旨

様々なセクシャリティ(性行動の対象の選択や性に関連する行動・傾向)の人々や、HIV陽性の人々、陰性の人々が一緒に生きている現実をありのままに受け止め、エイズのまん延防止や差別・偏見の解消のために、ひとりひとりに何ができるかを国民全体で考えていく。

3 実施主体及び実施方法

(1) 厚生労働省

関係行政機関、財団法人エイズ予防財団、エイズ関連NGO等の関係団体及び民間企業、報道機関等の協力を得て、全国的な啓発活動の推進を図る。

(2) 都道府県、保健所を設置する市及び特別区

関係機関及び関係団体等との連携を密にし、それぞれの地域の実情に応じた広報計画、実施計画に基づき、エイズに関する正しい知識の啓発活動を展開する。

4 厚生労働省が主催する主な事業

(1) RED RIBBON LIVE 2006 [11月28日(火)18:30~20:30予定]

アーティスト、エンターテイナーたちが無料招待のライブを行い、若者を中心とした世代に予防啓発のメッセージを発信する。

(2) HIV(エイズ)無料検査 [11月28日(火)14:00~20:00予定]

渋谷区保健所、国際医療センター(ACC)等と特別検査チームを編成し、ライブ会場付近にてHIV抗体検査を実施する。

(3) 街頭キャンペーン [11月28日(火)15:00~17:00予定]

渋谷駅周辺において、NGOやボランティア、民間企業と協力してエイズ予防啓発グッズを配布する。

(4) 世界エイズデー・シンポジウム [12月2日(土)18:00~20:30予定]

日本エイズ学会、エイズ予防財団等の参加によるシンポジウムを開催し、講演やパネルディスカッションを通じて青少年や中高年に対する予防啓発を行う。

(5) ポスターコンクール

青少年層に対して、HIV/AIDSについて関心をもってもらい、また考えるきっかけにするため、小学生、中学生、高校生、一般の部門ごとに最優秀賞、優秀賞等を選出し、世界エイズデー・シンポジウムにおいて表彰式を行う。

(6) エイズ啓発ポスターの配布

ポスターコンクール最優秀賞の中から決定した普及啓発ポスターと、公共広告機構(AC)の協力により作成したポスターを、官公庁、地方公共団体、エイズ治療拠点病院、映画館等に掲示する。

(7) インターネットによる啓発及び情報提供

Yahoo!JAPAN上の企画として「レッドリボンキャンペーン」を展開する。また、エイズ予防財団のホームページ(エイズ予防情報ネット)において、世界エイズデー前後に全国の自治体で実施されるイベントの紹介、検査相談体制の案内を掲載する。